

■■■2018年度総合演習 優秀提案 選定結果■■■

・学外選考委員特別優秀賞：

-5 班：西村直峻 伊藤祥汰 西上魁人 一谷浩史 小田靖之 里仲廉 廣田理織子 松井駿 迫間悠志（以上 9 名順不同敬称略）

・学外選考委員優秀賞：

-2 班：横山圭佑 名和滉太 名倉亮太 直井亮太郎 中島拓朗 中本勇 山村雄司 岩田鈴花（以上 8 名順不同敬称略）

-4 班：大浦涼雅 阿瀬和貴 岡本真樹 濟木智貴 仲西琴音 幸田直也 井上翼 瀧川みづき 市井翔大（以上 9 名順不同敬称略）

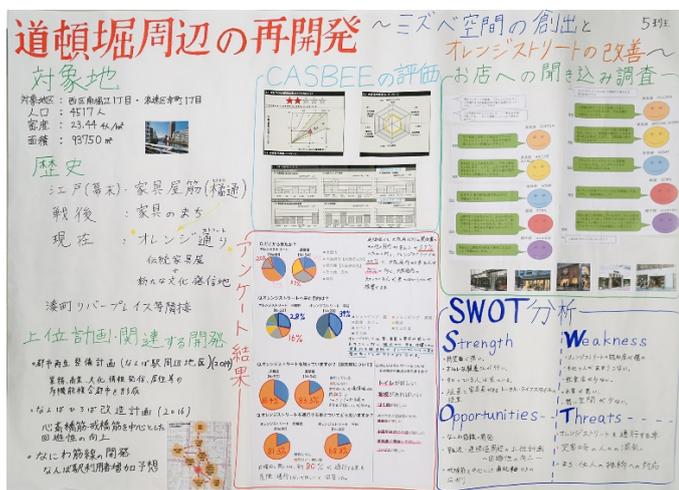
選評

【5班（道頓堀）】

提案題目：堀江地区再開発計画～10年後の魅力ある地域を目指して

選評：本計画区域はオレンジストリートと道頓堀川を含む四ツ橋筋からなにわ筋の範囲である。計画目的は家具問屋街であった、オレンジストリート（旧立花通）の立地環境変化をとらえつつ道頓堀沿川の再開発を進め、地域活性化と西方面への賑わいゾーン延伸を図るものである。とくに評価される点として4点をあげる。

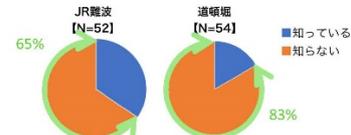
1. 現況整理、課題抽出から実施項目、計画達成状況の評価指標設定、10年後想定ストーリーまで、一連の説明が非常に明確で分かり易い。
2. 調査分析過程において①計画地区を含めた周辺地域の分析、②オレンジストリートの認知度等のアンケート実施、③主要地域資源である道頓堀川の水質調査など課題解決に必要な調査分析を行った。
3. 「堀江境界のブランド化」目標のもと、都市デザイン、環境創生、安全防災領域から地域の魅力向上と誘客の具体的計画と施策が提案された。
4. 提案だけに終わらず計画のPDCA サイクル及び10年後の体験例提示など、より具体的なプレゼンにより計画のフォローがされた。(422字)



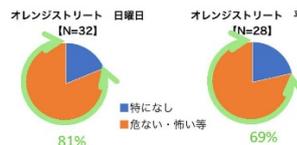
2. 現況の整理 オレンジストリートについて

オレンジストリートについての調査
 調査方法：スマートフォンアプリを利用したアンケート
 調査箇所：オレンジストリート内、戎橋周辺、JR難波改札前
 調査人数（人）：オレンジストリート内（60）、戎橋周辺（54）、JR難波改札前（52）
 調査日時：2018年11月11日、12日

Q.オレンジストリートを知っていますか？【認知度について】



Q.オレンジストリートを通行する車についてどう思いますか？



日曜に関しては約80%が通行する車を危険・怖い・通行しないでほしいと回答

【2班（咲洲）】

提案題目：半世紀後もまわる街

選評：大阪市住之江区の人工島「咲洲」において、にぎわいエリアとしづかなエリアにゾーニングし、半世紀後も継続して人や環境等が「まわる」総合的なプロジェクトの提案であった。提案にあたって、咲洲チャンネルの水質調査や住宅建設地の騒音調査が行われるなど、現状をしっかりと把握し分析されている点が評価できた。また、安全防災においては、防潮壁の設置や住民・来訪者別の避難計画など、ハードとソフトの両面から対象地に効果的な対策が提案されている点が評価できた。(217文字)



OSAKA CITY UNIVERSITY

半世紀後も「まわる」まち

総合演習 咲洲2班 最終発表

班員：名和、横山、岡、直井、名倉、中島、岩田、中本、山村

発表日：2019/1/28(月)



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY



OSAKA CITY UNIVERSITY

1. 咲洲チャンネルを魅力ある水辺空間へ ～採水の様子～

採水の様子

採水の様子



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

【4班（杉本）】

提案題目：住・良・区 ～市民の住みやすい街を目指す～

選評：大阪市南部の住吉区地域において、かつては鉄道利用されていた廃線跡地を緑道として再生しながら、防災拠点や大和川に親しめる公園も整備するプロジェクト。丹念に資料を読みこみながら現地にも何度も足をはこび、未利用地や交通量の時間変化（登下校時）など地域課題も考慮した総合的な計画である。現地採集サンプルで土壌調査も実施するなど、地域住民の安全・安心を重視しながら都市基盤としての魅力を高める計画である点が評価された。(203文字)

4班 住良区 土地利用構想図



住・良・区

庭井地区周辺計画

第4班 メンバー：阿瀬和貴 市井翔大 井上翼 大浦涼雅
岡本真樹 幸田直也 済木智貴 瀧川みづき 仲西琴音

